

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 26 年度 第 1 回 幹事会

平成 26 年 4 月 24 日 14 時～
糸魚川市役所 201・202 会議室

1 開会

2 審議事項

総会議案

平成 25 年度事業報告について	第 1 号議案
平成 25 年度収入支出決算について	第 2 号議案
平成 26 年度事業計画（案）について	第 3 号議案
平成 26 年度収入支出予算（案）について	第 4 号議案

3 その他

今後のスケジュールについて

5/14（水） 総会（16：00～ヒスイ王国館）

第1回幹事会 出席者名簿

区分	団体名	所属	職名	氏名	出欠	備考
幹事会	糸魚川市	産業部	部長	加藤 政栄		
	上越市	産業観光部観光振興課	課長	大坪 浩樹		
	大町市	産業観光部観光課	課長	西澤 美千夫		
	白馬村	観光課	係長	太田 雄介		代理出席
	小谷村	観光振興課	課長	柴田 友造		
	朝日町	商工観光課	課長	小川 雅幸		
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	課長	新保 直人		
	長野県北安曇地方事務所	商工観光建築課	課長	竹村 浩一郎		
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫		
	上越観光コンベンション協会		常務理事	片岡 明		
	大町市観光協会		専務理事	宮崎 亮		
	白馬村観光局		観光局長	篠崎 孔一		
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一		
	朝日町観光協会		事務局長	平木 利明		
	糸魚川商工会議所	総務課	総務係長	野本 宏一		
	能生商工会		事務局長	加藤 真美子		
	青海町商工会		事務局長	木下 耕造		
	上越商工会議所	総務課	係長	秋山 裕樹		代理出席
	大町商工会議所		事務局長	鷲澤 恒夫		
	白馬商工会		事務局長	松澤 衛		
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊		
	朝日町商工会		事務局長	木村 幸夫		
	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	糸魚川地域鉄道部	企画課長	濱井 英夫		
	えちごトキめき鉄道株式会社	総務企画部	総務企画部長	佐藤 章		
	糸魚川バス株式会社		本社営業所長	白石 博幸		
	頸城自動車株式会社	観光部	取締役観光部長	鳥越 元一		
	アルピコ交通株式会社		大町・白馬営業所長	勝野 英樹		
事務局	糸魚川市	産業部交流観光課	課長	藤田 年明		
			参事	高澤 豊秋		
			副参事	松村 伸一		
		主任主事	土沢 修栄			
	糸魚川市観光協会		職員	村山 真優子		

出席者数

23

平成 26 年度
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



日 時 平成 26 年 5 月 14 日

会 場 ヒ ス イ 王 国 館

平成25年度 事業報告について

連携会議の設立

平成27年春に予定される北陸新幹線開業がもたらす効果を生かした広域観光連携を推進するため、糸魚川駅を中心とした、大糸線、北陸本線沿線の市町村及び関係団体の計27団体がそれぞれが持つ質の高い観光資源を互いに活かすなかで、スケールメリットを生かした総合的かつ計画的な誘客活動を展開していくことを目的として、平成25年8月、北アルプス日本海広域観光連携会議を設立した。

事業報告

1 会議の開催について

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として4回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成25年9月10日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成25年10月1日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成25年12月20日開催）
- ・ 第4回 広域観光連携専門委員会（平成26年2月12日開催）

幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に1回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成26年2月19日開催）

2 平成25年度事業について

(1) ロゴマーク、キャッチフレーズの選定 203,497円

- ・ 北アルプス日本海広域観光連携会議をPRしていくためのロゴマーク、キャッチフレーズを公募するためのチラシを作成した。
- ・ 広報誌への掲載のほか、専用インターネットサイト、全国規模の公募ガイド誌へ掲載し、募集を通じて当会議の存在を知らせることに寄与した。



募集チラシ



公募ガイド誌への掲載

- ・ 優秀作品受賞者へ副賞（賞金）を授与し表彰した。



最優秀賞受賞作品



賞状の発送

(2) イメージポスター製作 431,550 円

- ・ ロゴマーク、キャッチフレーズを使用したポスターを 2 種類 × 300 部製作し、エリア内に掲出することで P R に努めた。



(3) 橋上駅舎完成記念イベント・開業 1 年前カウントダウンイベントとの連携 7,500 円

- ・ 連携会議市町村から出店していただき、特産品販売を通じて観光 P R を実施した。
- ・ 開業 1 年前カウントダウンイベントでは、連携会議各市町村長より地域紹介とイメージポスターの除幕を行っていただいた。



(4) ホームページの作成

157,500 円

- ・ 連携会議のオリジナルホームページを作成した。今後、6市町村の観光情報の紹介や会議開催内容等を掲載し、北陸新幹線開業の機運を高めていくものとする。

HP アドレス <http://itoigawa-kanko.muse.weblife.me/kiitaalps-nihonkai/#id2>



(5) うまさぎっしり新潟フェアの視察

41,360 円

- ・ 3/15～31の期間で開催した「うまさぎっしり新潟フェア」を視察し、今後、連携会議で誘客キャンペーンを実施する際の参考とした。



(6) その他

- ・ UX新潟テレビ21の夕方情報番組のコーナーにて連携会議の取り組みを紹介(11/18放送「スーパー」にいがた)
- ・ 糸魚川駅自由通路に連携会議市町村のパンフレットコーナーを設置

平成25年度 収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	4,050,000	4,050,000	0	
1.負担金	2,280,000	2,280,000	0	糸魚川市
	270,000	270,000	0	上越市
	430,000	430,000	0	大町市
	130,000	130,000	0	白馬村
	45,000	45,000	0	小谷村
	195,000	195,000	0	朝日町
	700,000	700,000	0	新潟県
2.補助金	0		0	
3.雑収入	200,000	205,189	5,189	総会交流会費、預金利息
計	4,250,000	4,255,189	5,189	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1.事業費	3,500,000	841,407	2,658,593	
広告宣伝事業費	3,000,000	683,907	2,316,093	ロゴ・キャッチ募集チラシ ポスター製作
ホームページ運営費	500,000	157,500	342,500	ホームページ作成
2.連携会議運営費	750,000	741,670	8,330	
会議費	250,000	278,160	28,160	総会、幹事会、専門委員会
事務委託費	450,000	450,000	0	糸魚川市観光協会
事務通信費	50,000	13,510	36,490	消耗品、送料及び手数料等
計	4,250,000	1,583,077	2,666,923	

収入4,255,189円 - 支出1,583,077円 = 差引2,672,112円 は次年度に繰り越す

平成26年度 事業計画（案）について

事業概要

開業を間近に控え、PR中心の取り組みから、開業効果を生かした事業の実現に向け具体的な取り組みを進めるものとし、更なる認知度向上と誘客促進に繋げる。

事業計画

1 会議の開催について

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う機関として、事業計画を推進する。

幹事会

重要事項の審議のほか、連携会議の円滑な運営を補助することを目的に開催する。

2 平成26年度事業について

(1) 広域観光PR

広告宣伝事業

広域観光ポスターの作成

- ・ 連携会議各市町村の代表的観光地を既存デザインの背景に落とし込み、それぞれの自治体で積極的に活用してもらう。
- ・ 開業前後において様々な場所に掲出し露出を図ることで、新幹線開業と連携会議の魅力を伝える。

広域観光パンフレットの作成

- ・ 連携会議のエリアを網羅した広域観光パンフレットを作成し、観光プロモーション等で広く配布することで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。

誘客宣伝事業

デスティネーションキャンペーンとの連携

- ・ 全国的に注目が集まるデスティネーション企画と連携し、広域旅行商品の販売に向け調整を進める。

TV番組の誘致活動

- ・ 地元ローカル局を通じ、在京キー局へ取材誘致の呼びかけを行う。
- ・ 平成26年度は情報提供と誘致活動のほか、開業後を見据えたプレ放映を実施する。

認知度調査および開業効果測定事業

- ・ 当地域に対する観光イメージや来訪意欲度、北陸新幹線開業の認知度を測るとともに、開業前後での旅行者の流れの変化を把握することで誘客施策を立てるうえでの効果的資料を取得する。

観光プロモーションの実施

- ・ 来春に開業を控える北陸新幹線と連携会議の魅力について、認知度向上及び誘客促進のためのPRキャンペーンを実施する。

周遊型広域旅行商品の展開

- ・ 開業による効果を生かすため、旅行会社を対象にエリア内の視察ツアーを実施し、新しい観光地としての可能性を売り込む。
- ・ 開業後の平成27年度における商品の開発と販売促進活動を展開する。

出身タレントの活用

- ・ 地元出身タレントを宣伝に起用することでPR力の強化を図る。

観光大使・ゆるキャラの活用

- ・ 連携会議市町村に属する観光大使やゆるキャラを活用することで注目度を高め、認知度の向上を図る。

イベント事業

市民見学会の開催

- ・ 連携会議市町村内に居住する市民を対象に、新幹線駅舎の見学を兼ねた広域観光ツアーを実施し、機運の醸成と新幹線の利用促進に繋げる。

広域観光PRの実施

- ・ 連携会議市町村が首都圏や関西圏で実施、出展しているイベントやキャンペーンにおいて、糸魚川駅開業と連携会議の魅力を発信する。

ホームページ運営事業

ホームページの運営管理

- ・ 魅力あるコンテンツを発信するサイトを運営することで、露出機会と認知度の向上を図る。

(2) 地域内 P R

イベント事業

北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会との連携

- ・ 新幹線開業関連イベントに際し、北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会（事務局：糸魚川市産業部都市整備課）と連携することで相乗効果を高め、誘客の促進を図る。

地域内イベント P R 事業

- ・ 連携会議の地域内で開催される各種イベント等で新幹線開業 P R を行うことで、認知度の向上を図るとともに地域内の機運の醸成を図る。

平成26年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	説 明
	10,127,000	
1. 負担金	6,469,000	糸魚川市
	859,000	上越市
	1,073,000	大町市
	327,000	白馬村
	113,000	小谷村
	486,000	朝日町
	800,000	新潟県
2. 補助金	0	
3. 雑収入	200,888	総会交流会費、預金利息
4. 繰越金	2,672,112	前年度繰越金
計	13,000,000	

【支出の部】

科 目	予算額	説 明
1. 事業費	11,850,000	
広告宣伝	4,200,000	パンフレット、ポスター作成費等
誘客宣伝	6,810,000	誘客活動費、モニターツアー等
イベント関連	540,000	新幹線開業イベント関連費
ホームページ運営費	300,000	ホームページ管理費
2. 連携会議運営費	1,150,000	
会議費	300,000	総会、交流会
事務委託費	800,000	糸魚川市観光協会
事務通信費	50,000	消耗品、事務通信費等
計	13,000,000	

参 考 資 料

平成 26 年度事業計画書

構 成 団 体 名 簿

幹事会・専門委員会名簿

連 携 会 議 規 約

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成26年度事業計画書（案）

(単位：千円)

区分	実施時期		事業名	参照頁	事業費	H26予算額	
広域観光PR	開業準備期	6月	広告宣伝	広域観光ポスターの作成	1P	800	3,800
		7月		広域観光パンフレットの作成	2P	3,000	
		4月	誘客宣伝	デスティネーションキャンペーンとの連携	3P	0	6,810
		5月		TV番組の誘致活動	4P	1,050	
		9月		認知度調査および開業効果測定事業	5P	400	
		9月		観光プロモーションの実施	6P	3,400	
		通年		周遊型広域旅行商品の展開	7P	1,000	
		通年		出身タレントの活用	8P	600	
		通年		観光大使・ゆるキャラの活用	10P	360	
		10月	イベント	市民見学会の開催	11P	540	540
		通年		広域観光PRの実施	12P	0	
		通年	HP運営	ホームページ運営管理	13P	300	300
						11,450	11,450
地域内PR	カウントダウン	9月	イベント	6か月前カウントダウンイベント	14P 15P	0	
		12月		3か月前カウントダウンイベント		0	
		2月		1か月前カウントダウンイベント	0		
		通年		地域内イベントPR事業	16P	0	
					0	0	
開業	開業時	当日	イベント	開業時イベント		0	
					0	0	

広告宣伝

広域観光ポスターの作成

1 趣旨

季節に応じたポスターを作成し、当地域の魅力を訴えることで来訪意欲の創出と誘客促進を図る。

2 事業計画（案）

風景を活かしたインパクトのあるポスターを作成し、興味の喚起と来訪意欲を促す。

- (1) 掲出エリアの選定
- (2) デザインの決定

【参考】
 JRの駅貼りの要件として、「タイアップポスター」と「観光誘致ポスター」の2種類があり、いずれも掲出には内容の承認が必要。自由なデザインでの作成を希望する場合、掲出には制約は設けないが掲出料が高額になる。（首都圏駅掲出例：200枚で約250万円）

3 目標

露出を増やすことで認知度向上と来訪意欲の創出を図る

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		企画、デザイン決定										
		作成		掲出（夏バージョン）								
							作成	掲出（冬バージョン）				
										掲出（新幹線開業バージョン）		

5 事業費（概算）

800,000 円

<内訳>

- ・ 作成費 375,000円（400枚）×2種＝750,000円
- ・ 掲出料 100枚×500円（発送手数料）＝50,000円

広告宣伝

広域観光パンフレットの作成

1 趣旨

当地域及び当会議の認知度向上及び誘客促進を図るため、エリアを網羅した広域観光パンフ（マップ）を作成する。

2 事業計画（案）

観光プロモーションの実施に関連し、キャンペーン等で配布するパンフレットを作成する。

(1) ターゲット

パーソナル（個人）、レンタカーまたはマイカー利用の観光客
首都圏、関西等から連携エリアへの誘客

(2) 配布先、用途、発行回数

キャンペーン用、1回発行、印刷部数未定

(3) 規格

A4判 20ページ以内

導入ページ、季節ごとのページ（1シーズン4ページ）

地図ページ（2ページ） エリアまでのアクセスの標記も要。

食のページ、お酒のページ（ただし、「詳しくはHPで」を掲載するため、各市村でHP要）

(4) 内容

エリア内の季節ごとのおすすめスポットを掲載

郷土料理、郷土食材、地酒の紹介

余裕があったら駅レンタカーの情報も掲載する

(5) 市町村へのお願い事項

パンフレット掲載情報（おすすめの見学スポット）の提供（継続）

「食」「地酒」のHPアドレス等の情報提供（新規）

3 目標

不特定多数への情報発信

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画検討											
		デザイン、編集、印刷										
				配布（随時）								

5 事業費（概算）

3,000,000 円（事業間の調整により変動）

誘客宣伝

デスティネーションキャンペーンとの連携

1 趣旨

J Rグループの大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン（DC）」に参加し、糸魚川駅開業並びに北アルプス日本海広域観光連携会議の認知度向上と来訪意欲の創出を図るとともに、旅行会社と連携して広域観光旅行商品の販売に取り組む。

2 事業計画（案）

全国的に注目が集まるDC企画に参加し、連携会議の魅力伝える。

- (1) DC期間中のポスター掲出
- (2) 糸魚川市、上越市の連携による観桜会ツアー（首都圏発）の実施
糸魚川市、小谷村、白馬村、大町市の連携による花と新緑巡りツアー（首都圏、大阪発）の実施
- (3) 全国の旅行会社担当者らを対象にした全国宣伝販売促進会議（7月中旬予定・新潟）にて広域旅行商品を紹介する。
- (4) 北陸三県DC（H26.10～）に向け、J R西日本管内の旅行会社と連携して広域観光商品の販売に向け調整を進める。
- (5) 新潟県観光商談会（首都圏・大阪）で、北陸三県DC期間中の商品販売に向けて商談を進める。

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出
団体ツアーの誘致による地域活性化

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内容決定											
	DCイベント実施、ポスター掲出											
	DC期間中の旅行商品販売											
			宣伝販促会議での商品の売込み									
				商談会等を利用した団体ツアーの商品造成								

5 事業費（概算）

0 円

誘客宣伝

T V 番組の誘致活動

1 趣旨

T V 番組での放映を通じ、当地域の魅力を広く紹介することで来訪意欲の創出と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

地元ローカル局を通じ、在京キー局へ取材誘致の呼びかけを行う。思惑の一致を図り、無償での誘致を図りたい。なお、必要に応じて協賛といった形で経費協力するものとする。放送開始を新幹線開業後に想定し、平成26年度は情報提供と誘致活動のほか、プレ実施ということで、S B C 信越放送の番組枠を買い取り放映を行い、この番組をサンプルにH27年度にT V 放映実施が可能なテレビ局を探すための営業活動を実施したい。

- ・北陸新幹線の開業により旅行圏域の広がりを伝え、地域の魅力を紹介
- ・糸魚川駅を拠点に各地域と近距離で楽しめることを強調
- ・北陸新幹線のほか、大糸線、並行在来線の利用促進も狙う
- ・放映後、映像素材は自由に使用できるものとする（著作権フリー）

(1) 地元ローカル局各局への情報提供と業務打診

(2) S B C 信越放送テレビ番組放送

番組名 「もうすぐ夏休み 遊びつくそう 海と山」 (仮)

放送日時 H27年6月中旬から7月下旬

放送エリア 石川県、富山県、長野県、群馬県、埼玉県

(3) H27年度T V 放映に向けた営業活動

在京キー局または番組制作会社へ営業活動を実施する。

今までの、加盟市町村それぞれの人脈を生かし営業活動を実施する。

営業活動は、割り振りをを行いそれぞれが負担がかからないようにする。

3 目標

T V 番組取材の誘致

認知度の向上

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地元ローカル局を通じた情報提供											
			信越放送TV番組放送									
					営業活動							
	(随時) 取材同行											

5 事業費（概算）

1,050,000 円

誘客宣伝

認知度調査および開業効果測定事業

1 趣旨

当地域の認知度調査を行うことで今後の戦略を立てるうえでの効果的資料とする。
北陸新幹線開業の前後で旅行者の流れの変化を数字により把握する。

2 事業計画（案）

< 調査概要 >

調査方法	Web調査
調査対象者	アクティブシニアと呼ばれる中高年世代
対象地域	首都圏（1都3県＋群馬）、関西圏（2府4県）
対象者数	500～1,000人
調査項目	糸魚川市及び周辺地域の認知度、北陸新幹線開業の認知度、 観光イメージや来訪意欲度等

3 目標

当地域に対する認知度の把握
北陸新幹線開業前の旅行客の動きの検証

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					準備							
						調査実施						
							集計、報告					

5 事業費（概算）

400,000 円

誘客宣伝

観光プロモーションの実施

1 趣旨

開業を控えた北陸新幹線のPRと「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力について認知度の向上を高めるためのPRイベントを開催する。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業と連携会議の紹介のほか、各地域の物産の販売を通じ、当地域の認知度向上と来訪意欲の創出を図る。実施にはJR関連企画会社への協力依頼が必要。

各県出先事務所との連携により発信力の強化を図り、パブリシティによる露出を図る。

< 実施地域 >

首都圏、関西圏、北陸のいずれかで1回開催

【実施例】

開催日	平成26年7月、9～1月の間の週末2日間
会場	東京駅地下1階 びゅうスクエア
参加者	連携会議自治体及び観光協会、観光大使、ゆるキャラ、 武将隊（上越市）、物販出店者等
内容	催事場での連携市町村の観光及び物産のPR <ul style="list-style-type: none"> ・地域PRブースの設置 ・物産販売 ・ゆるキャラステージ、武将隊演武 ・JRによる開業PRと各地域のびゅう商品の紹介
費用	300万円（什器、サイン、JR関連会社の支援スタッフ等含む）

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画調整 →			実施（いずれかの月の週末3日間）						→		

5 事業費（概算）

3,400,000 円 （出展料等）

誘客宣伝

周遊型広域旅行商品の展開

1 趣旨

北陸新幹線開業による効果を生かすため、旅行会社を対象にエリア内の視察ツアーを行い、新たな観光地としての可能性をPRする。

2 事業計画（案）

周遊型広域旅行商品の開発と販売促進活動

- (1) 観光素材の収集
- (2) エージェント視察ツアーの実施
- (3) 平成27年度商品の開発、売り込み

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	観光素材の収集											
	旅行会社への宣伝、視察希望地アンケート											
		アンケートの回収										
				視察ツアーの実施								
						平成27年度商品の開発、売り込み						

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （エージェント旅費、ツアー協賛金等）

誘客宣伝

出身タレントの活用

1 趣旨

地元出身のタレントを起用し宣伝に協力してもらうことで、当地域の認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

タレントの知名度を生かし、PR力の強化を図る。

タレント自身の出演番組内でも北陸新幹線開業PRを依頼する。

【活用案】

ポスターへの出演、新幹線開業応援メッセージ（→HPで閲覧可）、講演会・講習会の実施等

市町村	タレント名	ジャンル	活用実績等
糸魚川市	伊藤聡子	フリーキャスター	ジオパーク大使
	五十嵐かおる	漫画家	原画展の開催
	伊藤俊博	シンガーソングライター	イベントでの演奏会
	川合俊一	タレント（元バレーボール選手）	ジオパーク大使
	高橋竹山	津軽三味線奏者	ジオパーク大使
	横澤夏子	タレント（お笑い芸人）	講演会
	永井 大	タレント（俳優）	ジオパーク大使
上越市	五十嵐 圭	プロバスケットボール選手	元スポーツアドバイザー
	金井清一	プロゴルファー	元スポーツアドバイザー
	Hilcrhyme	歌手	イベントでの演奏会
大町市	仁科亜季子	女優	信濃大町観光大使
	田島幸信	香りマーケティング協会理事長	信濃大町観光大使
	藤巻高光	埼玉医科大学脳神経外科教授	信濃大町観光大使
	小野鉄二郎	プロデューサー	信濃大町観光大使
	山崎 登	NHK解説主幹	信濃大町観光大使
	鉄拳	タレント（お笑い芸人）	信濃大町観光大使
	縣 秀彦	国立天文台天文情報センター普及室長	信濃大町観光大使
	新津きよみ	小説家	信濃大町観光大使
	渡辺邦斗	俳優	
白馬村	上村愛子	スポーツ選手（スキー）	ポスター
朝日町	左 時枝	女優	美術展開催
	内田もも香	女優（元宝塚歌劇団）	イベント出演
	梅津 栄	俳優	

※小谷村は該当者なし

3 目標

認知度向上と機運の醸成

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	リストアップ											
	→	活用案の検討										
			→	出演交渉								
				→								

5 事業費（概算）

600,000 円 （出演料等）

誘客宣伝

観光大使・ゆるキャラの活用

1 趣旨

各市町村及び観光協会が有する観光大使（ミス等）やゆるキャラを様々な形で活用し、PRを図ることで、注目度を高め認知度の向上を図る。

2 事業計画（案）

連携の効果を活かし、観光大使やゆるキャラを集合体で活用することで注目度を高め、認知度の向上を図る。

低予算で効果的な演出を検討する。

【活用案】

- ・ホームページ上で各地ミスの紹介（例：ミスご当地コレクション）
- ・各自治体事業への出演（例：ゆるキャラ大集合）

市町村	ゆるキャラ名	種別
糸魚川市	ジオまる、ぬーな	糸魚川ジオパーク
	ブラック番長	糸魚川ブラック焼きそば
	御風さん	
上越市	上越忠義隊けんけんず	
大町市	おおまびょん	
白馬村	ヴァクトワール・シュヴァルブラン村男Ⅲ世	
小谷村	たりたり	
朝日町	ヒスイ太郎	

3 目標

認知度向上と誘客の促進

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画協議											
		→ (随時) 派遣・活用										

5 事業費（概算）

360,000 円

<内訳>

- ・観光大使報償費 10,000円×12名分×3回=360,000円
- ・観光大使旅費（なし。自治体職員と一緒に庁用車で動く）
- ・ゆるキャラは自治体職員対応のため費用負担なし

イベント

市民見学会の開催

1 趣旨

連携会議市町村内に居住する市民を対象に、新幹線駅舎の見学と広域観光圏の周遊ツアーを実施し、機運の醸成と新幹線の利用促進を図る。

2 事業計画（案）

新幹線駅舎の見学をメインとした広域観光ツアーを実施する。（事務局が主催）

(1) 関係機関との調整等

- ・実施日について鉄道運輸機構側との調整が必要
- ・市町村ごとに添乗員1名の協力が必要

(2) 周知等

- ・ホームページ、広報等による周知と募集
- ・実施後、運行の様子をホームページ等に掲載

(3) 運行計画

< 概要 >

実施日	調整中（土曜又は日曜日の日帰り、1回催行）
コース	<ul style="list-style-type: none"> ・大町、白馬、小谷方面からバス2台 ・朝日方面からバス1台 ・上越方面からバス1台
対象者	連携会議市町村内に居住する市民
募集人数	バス1台につき40名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅舎の内覧会 ・新幹線開業による効果、連携会議の取組み等の説明 ・周辺地域の観光
参加費	大人1人あたり1,500円～2,000円（昼食代相当分）

3 目標

市民意識の高揚や期待感の創出による機運の醸成
新幹線の利用促進

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		プラン策定		実施日確定								
				周知、募集			催行					

5 事業費（概算）

540,000 円

<内訳>

- ・バス借上代 130,000円/日×4本=520,000円
- ・ガイド料 5,000円/日×4回=20,000円

イベント

広域観光PRの実施

1 趣旨

各市町村及び観光団体が出展する首都圏、関西圏等でのイベントやキャンペーンにおいて、北アルプス日本海広域観光連携会議のPRを実施し、認知度向上に努める。

2 事業計画（案）

連携会議の各団体が首都圏や関西圏で実施する集客力のあるイベントやキャンペーンにおいて、糸魚川駅開業情報と連携会議の魅力を発信し露出機会を増やすことで認知度向上を図る。

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出
- (2) 連携会議エリアの観光情報の紹介

なお、共同により出展することでより効果的なPRができるものについては、合同参加を検討する。

【合同参加が考えられる例】

名称	開催月	参加予定市町村
・信州夢街道フェスタ（松本市）	5月	上越市、大町市
・MRO旅フェスタ（金沢市）	6月	上越市、小谷村、白馬村、大町市
・首都圏JR駅キャンペーン	7月	小谷村、白馬村
・北陸・関西方面JR駅キャンペーン	8月	小谷村、白馬村
・ツーリズムEXPOジャパン（東京）	9月	糸魚川市、小谷村、白馬村、大町市
・首都圏JR駅キャンペーン	12月	小谷村、白馬村
・北陸JR駅キャンペーン	12月	糸魚川市

3 目標

首都圏、関西圏、北陸方面の不特定多数への情報発信

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												

5 事業費（概算）

0 円

HP運営

ホームページ運営管理

1 趣旨

訴求力のあるコンテンツを発信する魅力あるサイトを運営することで、北陸新幹線開業及び連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより連帯感の醸成と露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上
 連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											
	→											

5 事業費（概算） 300,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 240,000円
- ・情報更新料 5,000円/月×12カ月=60,000円

イベント

北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会との連携

1 趣旨

北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会（事務局：糸魚川市産業部都市整備課）と連携してイベントを開催することで、相乗効果を高めるとともに誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

■ 1年前カウントダウンイベント（平成26年3月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) 開業記念プロジェクトの発表
- (2) プラレール企画の発表
- (3) ゆるフォト・コンテストの告知

■ 6か月前カウントダウンイベント（平成26年9月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) プロジェクション・マッピング
- (2) カウントダウンボード掲出
- (3) アンバサダー活動開始（SNS連動）

■ 3か月前カウントダウンイベント（平成26年12月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) キャンドルナイト&ライブ

■ 1か月前カウントダウンイベント（平成27年2月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) ゆるキャラフォトコンテスト
- (2) プラレール文字制作
- (3) PRキャンペーン強化

■ 開業日当日（平成27年3月）

企画内容（予定）

- (1) 地元タレントによる開業式典
- (2) プラレール企画完成披露

3 目標

認知度向上と機運の醸成
協働による経費節減

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						6か月前CD						
						→			3か月前CD			
									→			
											1か月前CD	
											→	
												開業
												→

5 事業費（概算）

0 円

イベント

地域内イベントPR事業

1 趣旨

連携会議の地域内で開催される各種イベント等で新幹線開業PRを行うことで、北陸新幹線「糸魚川駅」及び「北アルプス日本海広域観光連携会議」の認知度を高めるとともに、地域内の機運醸成を図る。

2 事業計画（案）

多数の集客が見込める地域を代表するイベントにおいて、PRコーナーを設け来場者に紹介する。

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出
- (2) 連携会議の取組み及びエリアの観光情報の紹介

PRコーナーの装飾、レイアウト等は事業者提案によるものとするが、以下に掲げるものを掲出する。なお、イベント終了後には、事務局に実績報告を行うものとする。

- ・パンフレット（100～200部程度）
- ・ポスター（1枚以上）
- ・のぼり旗（1基以上）

【例】糸魚川市の場合（地域外からの来訪が多いもの）

イベント名称	開催月	開催日数	入込数（人）
翠風展	5月	2日	4,800
ひめかわポートフェスティバル	8月	1日	24,000
日本海クラシックカーレビュー	9月	1日	20,000
糸魚川翡翠鉱物展	11月	2日	3,500

3 目標

地域内における認知度向上と連帯感の醸成

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												

5 事業費（概算）

0 円

北アルプス日本海広域観光連携会議 構成団体名簿

区 分	団 体 名	備 考
市町村	新潟県 糸魚川市	
	新潟県 上越市	北陸本線沿線のみ
	長野県 大町市	
	長野県 白馬村	
	長野県 小谷村	
	富山県 朝日町	
国県	新潟県糸魚川地域振興局	
	長野県北安曇地方事務所	
観光団体	糸魚川市観光協会	
	公益社団法人上越観光コンベンション協会	
	大町市観光協会	
	一般社団法人白馬村観光局	
	一般社団法人小谷村観光連盟	
	朝日町観光協会	
商工団体	糸魚川商工会議所	
	能生商工会	
	青海町商工会	
	上越商工会議所	
	大町商工会議所	
	白馬商工会	
	小谷村商工会	
	朝日町商工会	
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	糸魚川地域鉄道部
	えちごトキめき鉄道株式会社	
	糸魚川バス株式会社	
	頸城自動車株式会社	
	アルピコ交通株式会社	

幹事会・専門委員会名簿

区分	団体名	所属	職名	氏名	メールアドレス	電話	FAX	備考
幹事会	糸魚川市	産業部	部長	加藤 政栄		025-552-1511	025-552-7372	
	上越市	産業観光部観光振興課	課長	大坪 浩樹		025-526-5111	025-526-6183	
	大町市	産業観光部観光課	課長	西澤 美千夫		0261-22-0420	0261-23-4660	
	白馬村	観光課	課長	篠崎 孔一	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	課長	柴田 友造	shibata@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	課長	小川 雅幸		0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	課長	新保 直人	shimbo.naoto@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県北安曇地方事務所	商工観光建築課	課長	竹村 浩一郎	hokuan-shokanken@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション協会		常務理事	片岡 明	itca@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	宮崎 亮	omachisi@chive.ocn.ne.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局		観光局長	篠崎 孔一	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	s-kiku@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	asahi@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282	
	糸魚川商工会議所	総務課	総務係長	野本 宏一	k-nomoto@itoigawa-cci.or.jp	025-552-1225	025-552-8860	
	能生商工会		事務局長	加藤 真美子	benten@noumachi-syoukoukai.or.jp	025-566-2244	025-566-4374	
	青海町商工会		事務局長	木下 耕造	omisho@poppy.ocn.ne.jp	025-562-2352	025-562-5201	
	上越商工会議所		専務理事	東條 邦俊	tohjo@joetsu.ne.jp	025-525-1185	025-522-0171	
	大町商工会議所		事務局長	鷲澤 恒夫	occi@deluxe.ocn.ne.jp	0261-22-1890	0261-23-3735	
	白馬商工会		事務局長	松澤 衛	hakuba@coffee.ocn.ne.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
	朝日町商工会		事務局長	木村 幸夫	asahi@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282	
	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	糸魚川地域鉄道部	企画課長	濱井 英夫	hideo-hamai@westjr.co.jp	025-552-2901	025-552-2902	
	えちごトキめき鉄道株式会社	総務企画部	総務企画部長	佐藤 章	info@echigo-tokimeki.co.jp	025-546-5520	025-543-8020	
	糸魚川バス株式会社		本社営業所長	白石 博幸	itobus@amber.plala.or.jp	025-552-0180	025-550-1006	
	頸城自動車株式会社	観光部	取締役観光部長	鳥越 元一		025-543-3781	025-544-8338	
	アルピコ交通株式会社	大町営業所・白馬営業所	所長	勝野 英樹	katsuno.hideki@alpico.co.jp	0261-72-3155	0261-72-5829	
専門委員会	糸魚川市	産業部交流観光課	主任主事	長谷川 知映	chie.hasegawa@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	
	上越市	産業観光部観光振興課	主任	吉田 宏司	yoshida.hi@city.joetsu.lg.jp	025-526-5111	025-526-6183	
	大町市	産業観光部観光課	課長補佐	和田 泰典	wada.yasunori@city.omachi.nagano.jp	0261-22-0420	0261-23-4660	
	白馬村	観光課	係長	太田 雄介	0231@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	係長	北村 幸治	k-yamaya@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	主事	竹林 由佳理	yu-takebayashi@town.toyama-asahi.lg.jp	0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	地域振興専門員	大林 賢治	obayashi.kenji@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
			主事	相田 研介	aida.kensuke@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県北安曇地方事務所	商工観光建築課	課長補佐	降旗 康直	furihata-yasunao@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
			職員	村山 真優子	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション協会		係長	福嶋 大	itca-fd@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	宮崎 亮	omachisi@chive.ocn.ne.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局	営業課	課長	高橋 利郎	info@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
	白馬商工会		経営指導員	柏原 武幸	hakuba@coffee.ocn.ne.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	s-kiku@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
	朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	asahi@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282	
事務局	糸魚川市	産業部交流観光課	課長	藤田 年明	t-fujita@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			参事	高澤 豊秋	toyoaki.takasawa@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			副参事	松村 伸一	siniti.matamura@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			主任主事	土沢 修栄	syuei.dozawa@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	

北アルプス日本海広域観光連携会議規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会議は、北アルプス日本海広域観光連携会議(以下「連携会議」という。)と称する。

(目的)

第2条 連携会議は、北陸新幹線系魚川駅開業がもたらす様々な効果を活かした広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画(以下「行動計画」という。)に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、新幹線開業に向けた広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。

第2章 組織等

(組織)

第3条 連携会議は、別表に掲げる団体をもって組織する。

(役員)

第4条 連携会議に、次の役員を置く。

会 長 1名

副会長 若干名

監 事 2名

2 役員は、総会において決定する。

(役員の仕事)

第5条 会長は、連携会議を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

3 監事は、連携会議の会計を監査し、その結果を総会において報告する。

第3章 総会

(総会)

第6条 総会は、次の事項を議決する。

行動計画及び規約の制定又は変更に関すること。

事業計画に関すること。

収入支出予算及び決算に関すること。

役員の選任に関すること。

その他会長が必要と認める事項に関すること。

2 総会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(専決処分)

第7条 会長は、総会を招集する時間的猶予がないときは、前条第1項各号に掲げる事項について専決することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

第4章 幹事会

(幹事会)

第8条 連携会議の目的を円滑に遂行するため、幹事会を設置する。

2 幹事会は、連携会議の構成団体からの推薦する者により組織する。

3 幹事会は、次に掲げる活動を行う。

連携会議の円滑な運営の補助

行動計画に基づく事業の重点化に関する協議

専門委員会の連絡調整

第5章 専門委員会

(専門委員会)

第9条 連携会議は、専門的な事項を検討し、推進するため、専門委員会(以下「委員会」という。)を設置することができる。

2 委員会は、連携会議の要請により必要に応じて組織する。

3 委員会の委員は、検討する事項により幹事会で協議し、関係する団体からの推薦により決定する。

(委員長等)

第10条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委員会の会議)

第11条 委員長は、委員会を招集し、その会議の座長となる。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

第6章 事務局

(事務局)

第12条 連携会議、幹事会、委員会等の会務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長及び事務局次長を置き、会長が任命する。
- 3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、糸魚川市産業部交流観光課に置く。

第7章 会 計

(会計)

第13条 連携会議の経費は、負担金、補助金、寄付金、協賛金その他の収入をもって充てる。

- 2 連携会議の会計は、糸魚川市財務規則に準拠し、糸魚川市財務規則のうち課長専決以下は事務局長の、それ以外は会長の決裁により、事務局長が執行する。
- 3 予算の管理は、事務所で行い、監事の監査を受けるものとする。

(会計年度)

第14条 連携会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 解 散

(解散)

第15条 連携会議は、第2条に掲げる目的を達成したときに解散する。

第9章 補 足

(補足)

第16条 この規約に定めるもののほか、連携会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。
- 2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。